

おいしい だより



大石まち協キャラクター
どうたくTWINZ
たつくん&ゆりちゃん

第58号

令和4年12月14日発行

発行 大石地区まちづくり協議会・大石コミュニティセンター
編集 広報紙編集委員会

坂井市春江町上小森 6-12 TEL/FAX(0776)72-0002
まち協ホームページ <http://www4.fctv.ne.jp/~ohishimk/>
大石コミュニティセンターアドレス ohishi-cc@city.fukui-sakai.lg.jp



まち協HPは
こちらから

大石地区の人口・世帯数

(令和4年11月1日現在)

前号比

世帯数	1,388 戸	6
人口	4,033 人	-36
男	1,986 人	-18
女	2,047 人	-18



同日、空き缶拾い、コミセン前花壇整備も行いました。

秋晴れの 11/6(日)、ゆりの里公園でユリプランターづくり事業を行いました。これは、大石地区まちづくり協議会の花・環境部会が中心となり、まち協全体で取り組む事業で、今年も坂井市役所春江支所、ハートピア春江、美健ハウスの協力をいただき実施しました。1 つのプランターにユリの球根を5球ずつ植込み、それを300個仕上げました。来年6月のユリの開花が、今から本当に楽しみです。

◆幻の堤防(春江堤防)を歩く

教育・文化部会

9/23(金・祝)

今年の3月に春江築堤記念碑の前に、説明板を設置しました。これを記念して春江築堤記念碑説明板設置ウォークを開催しました。当日は小雨模様でしたが、大石地区以外からの参加者もあり、現在の堤防に埋没してしまった春江堤防(約5km)のルート上を3.2km歩きました。ゆりの里公園からバスで築堤記念碑へ、ここで簡単な説明を聞いてウォークを開始。磯部川安沢樋門から八ヶ川樋門で折り返し、布施田橋の東詰めでバスに乗車、ゆりの里公園で解散しました。ウォークの途中、所どころで県立歴史博物館学芸員の伊藤大生氏からなぜ高屋・定広間に堤防がなかったのか歴史地理学的知見に基づいて、説明がありました。現在、堤防付近の水田になっているところは、周りに比べて土地が高くほとんど畑地になっており、そこでは菜種や大豆が栽培されていました。菜種油は照明に大豆は味噌作りには必要だったのです。畑地は水害に会うことは少なく稲作よりも安定した収入が得られたため、築堤には強く反対したというのです。明治18年の大水害の地図によると、木部堤防に囲まれた木部輪中域だけは水害を免れました。木部堤防はその機能を十分に果たしたのです。しかし、木部堤防の外側と内側との集落間で排水を巡って激しい争いが起きました。その他たくさんの有意義な説明を聞くことができました。



◆さかい未来創造座談会

8/26(金)

坂井市主催の座談会が開かれました。市の関係者や大石区住民合わせて30名が集まりました。座談会には市から市長、副市長、教育長、総合政策部長が、大石地区からは地区を代表して12名が参加しました。会の冒頭市長から、三国町・丸岡町・春江町・坂井町の4町が合併して坂井市が発足したが、市は各コミセン単位の地区で構成されており旧町の意識にとらわれることなく、コミセン単位の住民の意見や要望を政策に反映させる目的で座談会を開催する旨の発言がありました。参加した12名は、3分程度で市に対する考え、要望やアイデアを述べました。12名全員が述べた後、それぞれの発言に対して市長より回答や考えの返答がありました。教育問題については、教育長が対応しました。また、後日、発言者それぞれに対して担当課より文書による返答がありました。



◆敬老お祝い品の配布

敬老に関わる事業

9月

大石地区内の75歳以上の方に、今年は農産物直売所「ゆりいち」のお買物券をお贈りしました。

※使用期限が迫っていますので、出来るだけ早めにお使いください。

(令和5年1月31日まで)



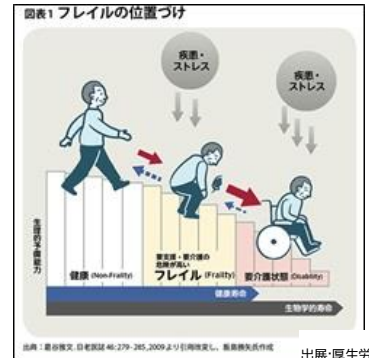
◆フレイル予防教室

健康・福祉部会 共催 春江北部ふくしの会

5回シリーズで、下記のテーマで行いました。
 毎回、定員20名に対して多数の申し込みがありました。
 それぞれの参加者は、積極的に楽しく活動に取り組んでいました。

- 第1回 7月6日(水) 健康スマホ教室&懐メロ鑑賞・サロン
- 第2回 8月3日(水) 介護予防体操教室&手品鑑賞・サロン
- 第3回 9月7日(水) 高齢者の食生活&三味線と歌・サロン
- 第4回 10月5日(水) 卓球バレー教室&マンドリン演奏・サロン
- 第5回 11月2日(水) フレイルチェック講座

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階を指すもので、フレイル予防教室は、フレイルにならないよう、健康状態を維持するために行うものです。



出典：厚生労働省 HP より



◆地区ラジオ体操会の推進

健康・福祉部会 7月~8月

各集落でのラジオ体操は、コロナ禍にもかかわらず13集落で行われました。今年は5回以上(昨年は3回)の参加者に粗品を進呈しました。回数を上げたにも関わらず、粗品贈呈者は190名と昨年と同数でした。



大石歴史探訪⑦

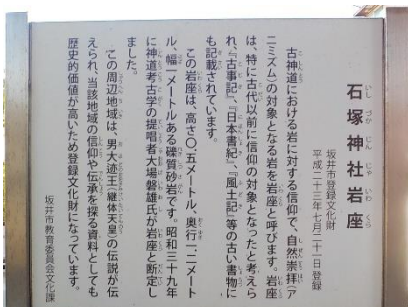
石塚神社の神石・磐座 (石塚)

石塚神社境内に祀られている大きな岩は、昭和39年国学院大学大場磐雄教授によって磐座(いわくら)と断定された。巨石崇拜は天然崇拜の一部で、あらゆる諸民族に共通に存在し、古代にさかのぼるほど顕著になる。神々が降臨した岩として、社殿の設備がない原始時代から崇拜されていた。後に岩そのものが神様として祀られるようになったと言われる。

なお、石塚の神石には、次のような伝承がある。継体天皇は越前平野の治水につとめ、九頭竜川の水流を三国の河口から日本海へ切り落とした工事の時、石塚の神石の上立って働く人々の指揮をとったというものである。

石塚区は、この磐座を神社の社殿横に安置し、小さな祠を建てて、祀っている。

なお、磐座の前に春江町教育委員会によって説明板が設置されたが、現在は坂井市教育委員会文化課によって一部書き加えられた。(芳)



◆大石ふれあいデー(大石ふれあいまつり)

10/3(月)~10/28(金)

10/2(日)に大石ふれあいまつりを予定しておりましたが、コロナの状況を鑑み、「大石ふれあいデー」として、作品展示のみとし開催しました。大石コミセン内に春江北幼保園年長児、大石小学校の全児童の作品と大石コミセンで活動するサークルの俳句、書道などの作品を展示しました。



大石コミセンだより



コミセン講座(後期)開催中

- ・POP な飾り巻き寿司 11/11・12/16(金) 宇野 雅栄講師
- ・コーヒーの淹れ方教室「オトナ塾」 11/22(火) POSSE COFFEE 西 友規講師

大石小まち探検

11/22(火)大石小学校2年生が生活科の学習で大石コミセンを探検しました。後日、かわいいお礼のメッセージをいただきました。ありがとうございました。

坂井市放課後子ども教室実行委員会

大石子ども教室



生け花教室 6~1月(小原流)



将棋教室 6~1月



①食品サンプルつくりと光ファイバー工作
科学実験キャラバン(福井工業大学)
7/29(金)

- ②お仕事体験「アインプラネットで溶接に挑戦」
(長田工業所協力・春江西コミセンと共催) 8/3(水)
- ③宿題をしあげちゃおう「図画教室」 8/9(火)
- ④宿題をやろう 8/10(水)

夏休み
まなぼっさ
広場

大石小学校児童を対象にいろいろな教室が行われています。